

2018年7月9日

GEヘルスケア・ジャパン、核医学検査装置に、最新機能を搭載した 新ラインナップを発売

GEヘルスケア・ジャパン(株)は、核医学検査に使用されるSPECT/CT装置およびSPECT装置の新ラインナップ(合計5製品で構成される)を7月20日より販売開始する。充実したラインナップの提供により、国内の診療・研究における専門性の高い大学病院や研究施設、総合大型病院から地域中核病院までの顧客をターゲットとし、核医学検査に求められる幅広い用途および診療ニーズに応える。

近年、がん診療において大きな注目を集めている、診断と治療を一緒に行う「セラノスティクス(Theranostics)」において、治療効果判定や治療戦略のための指標となる「定量化」は大変重要な要素となっている。例えば、がんの骨転移の治療において、核医学検査の結果を定量化することでより治療効果判定の確信度が上がると期待されている。

今回新たに追加された新ラインナップのSPECT/CT装置では、検出器の感度を向上させる新しいコリメータとコントラストを向上させるソフトウェアを組み合わせで搭載している。これにより、スキャン時間の短縮を実現し、病変描出能を改善した。さらに、同時にバージョンアップされる核医学装置のワークステーションとの組み合わせにより、従来煩雑であった定量化のための操作手順がよりシンプルになった。また、同ワークステーションでは定量アプリケーションの機能も大幅に強化。目的とする臓器や病変部位の自動抽出機能を大幅に進化させたことで、様々な検査目的を持つ核医学診断に適した定量値を提供できることと期待されている。

以上